

令和2年12月16日
都市局都市安全課

みなさん、液状化にはご注意ください！

- 東日本大震災では9都県において、約27,000件の液状化による宅地被害が発生し、熊本地震、北海道胆振東部地震といった大規模地震でも同様の被害が発生しています。
- これら地震の被害を踏まえて、宅地液状化対策工法の開発などが進んでいますが、実際に液状化対策を実施していくには、まずは各地域における液状化のしやすさを認識する必要があります。
- このため国土交通省では、液状化についての基本情報として、「地形区分に基づく液状化の発生傾向図」を公表します。これをもとに、今後の宅地液状化対策を推進してまいります。

ハザードマップポータルサイト
～身のまわりの災害リスクを調べる～

使い方 利用規約 お問い合わせ 関連情報

重ねるハザードマップ
～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～
洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

① **地図を見る**

場所を入力
例：茨城県つくば市北郷1/国土地理院

表示する情報を選ぶ
洪水 (想定最大規模) 土砂災害 津波 道路防災情報
過去の代表的な災害事例をみる

わがまちハザードマップ
～地域のハザードマップを入手する～
各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

② **すべての情報から選択**

③ **土地の特徴・成り立ち**

④ **地形区分に基づく液状化の発生傾向図**

＜ハザードマップポータルサイト＞
QRコード
(サイト URL)
<https://disaportal.gsi.go.jp/index.html>
※ 令和2年12月17日14時以降から閲覧可能となります。

「土地の特徴・成り立ち」から「地形区分に基づく液状化の発生傾向図」を選択

- (別紙1) 地形区分に基づく液状化の発生傾向図の公表について
- (別紙2) 都道府県液状化危険度分布図の公表について

宅地液状化対策に関するご質問・相談は、お気軽に以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

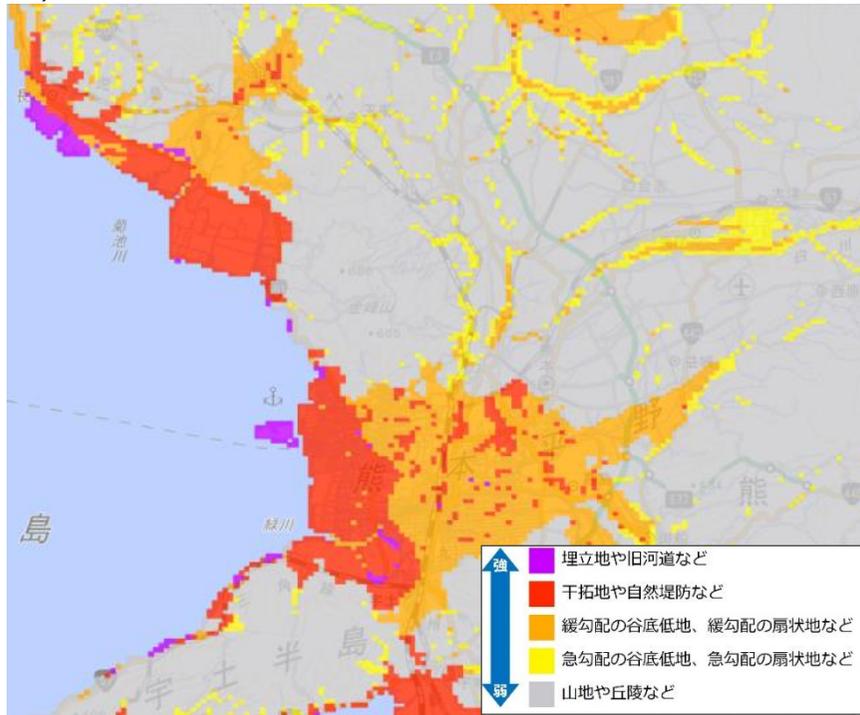
国土交通省 都市局 都市安全課 井上、山科

TEL : 03-5253-8111 (代表) (内線 : 32342、32347)、03-5253-8401 (直通) FAX : 03-5253-1587

地形区分に基づく液状化の発生傾向図の公表について

- 対象地域において、地形区分ごとの液状化の発生傾向の分布を示す資料。
- 一般的には調べるのが難しい地盤の液状化について、液状化の発生傾向の強弱を相対的に示すことを目的としている。
- 特定の地震を想定せず、地形区分と過去の地震との関係を集計し、地形が示す一般的な地盤特性に対応した相対的な液状化の発生傾向の強弱を5段階区分で表している。

例) 地形区分に基づく液状化の発生傾向図のイメージ

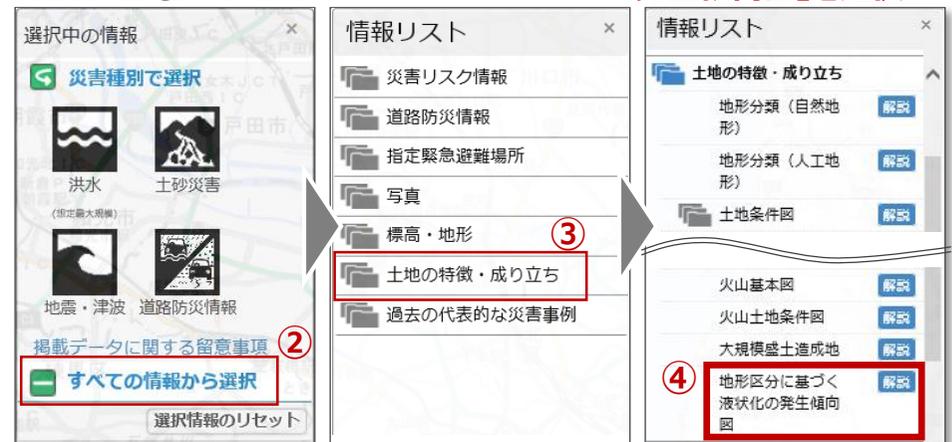


重ねるハザードマップ上での閲覧方法

※令和2年12月17日14時以降に閲覧が可能



「土地の特徴・成り立ち」から「地形区分に基づく液状化の発生傾向図」を選択



ハザードマップポータルサイトに関するお問い合わせは下記までお願いします。

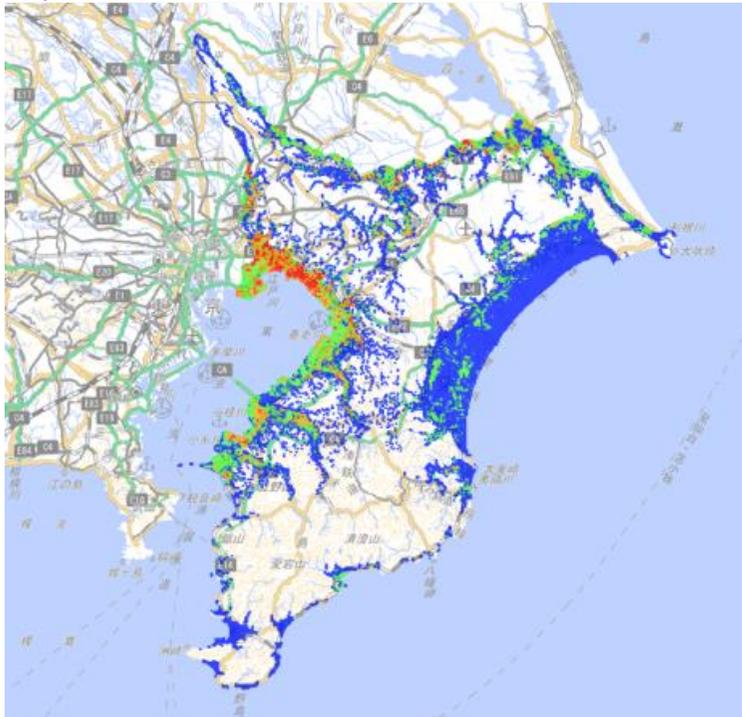
【問い合わせ先】

国土交通省 国土地理院 応用地理部 安喰、大角
 TEL: 029-864-1111(代表) (内線:6121、6333)
 029-864-6269、029-864-6922(直通)
 FAX: 029-864-1804

都道府県液状化危険度分布図の公表について

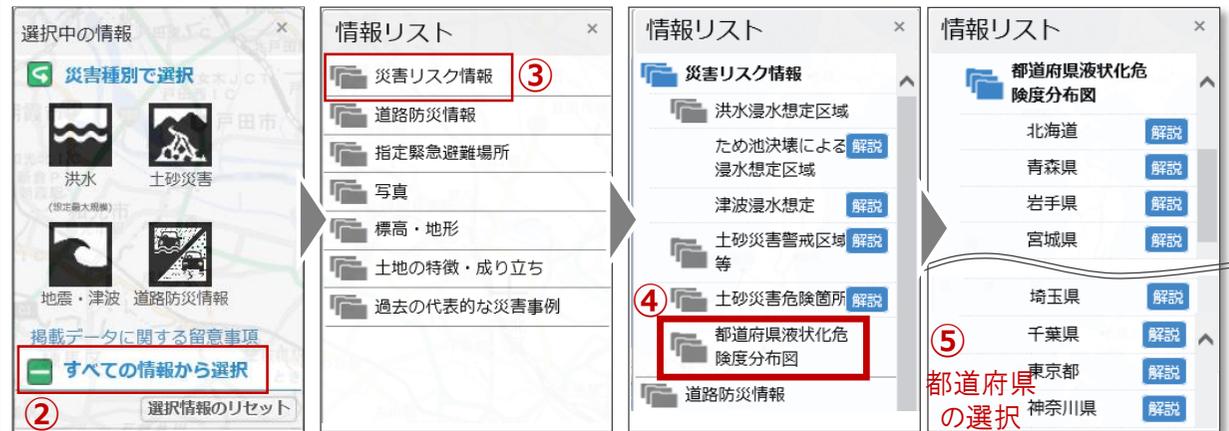
- 液状化による危険性を把握する情報として、都道府県が実施した地震被害想定調査等の液状化危険度分布図の情報を収集。
- 地域における想定地震や地盤条件等の具体的な条件を考慮し、都道府県が想定する特定の地震等に対する液状化の危険度分布を示したもの。

例) 都道府県液状化危険度分布図のイメージ



重ねるハザードマップ上での閲覧方法

※令和2年12月17日14時以降に閲覧が可能



「災害リスク情報」から「都道府県液状化危険度分布図」を選択→都道府県を選択